

◆避難情報の意味

警戒レベル4 避難指示(緊急)

危険が迫っています。直ちに緊急安全確保を！
避難所への避難が難しい場合は、**自宅の2階に緊急退避！**

直ちに避難を《終了》

警戒レベル4 避難勧告

基本的に安全を確保できる場所へ**全員避難**

全員避難を《開始》

警戒レベル3 避難準備 高齢者等避難開始

高齢者など避難に時間を要する人は避難し、**要援護者避難支援をする人は行動開始**
その他の人は避難の準備を

避難の《準備》

*令和3年梅雨期に運用変更予定有

自主避難所の開設

夜間の避難が不安な方を対象に早めの自主避難を呼びかけます。

豊岡市防災課

〈地域から犠牲者を出さないため、基本的な考え方を共有してください〉

風水害の場合、事前に防災マップで自分の住んでいる地域の危険の特性を確認していただき、自分が逃げるべき人なのか留まるべき人なのか、また、避難する場合はどこに避難し、避難経路に危険箇所がないか等を確認しておきましょう。

1. 自宅周囲の道路が冠水するまでに避難することが大原則。避難しようとしたが周囲が冠水して避難できなかったというのは「手遅れ」であるということをご認識してください。
2. 避難先は指定緊急避難場所だけではありません。家族や友人、ホテルなど多様な避難先を選択肢として持っておいて下さい。
3. 例え自宅が浸水したとしても、2階で避難生活がおくれるよう必要なものを備えておいて下さい。
4. 避難行動要援護者の個別支援計画は、まず支援者自身の命、支援者のご家族の命の安全が確保されて初めて取り組まれることに留意してください。あくまで地域の共助というボランティアの心に支えられた取り組みです。できる範囲での支援をお願いします。
5. 避難行動要援護者の避難支援は地域がすべて行わなければならないものではありません。要援護者自身やその家族を通じ、活用可能な人的資源等（家族、知人、普段利用している福祉サービス等）を活用できない場合に支援をいただきたいという考え方です。
6. 私たちがお願いしていることは、地域から一人の犠牲者も出さない、という防災です。「命を守ること」を前提とした取り組みをお願いします。

NPO法人わいわいみ・な・み

水害時避難マニュアル 2020



台風などの災害時に命を守るための行動を、どうとるのかを、地区のみなんで考え作ったマニュアルです。

まず命を守る行動を、実行するのは自分や家族(自助)です。同時に近隣の人との助け合い(共助)が必要になります。

床瀬区・中村区・下村区・銅山区・小城区・二連原区エリア



台風など水害に対する防災行動



台風発生

台風発生は、南の海上沖から、到着までには数日かかるので、情報をしっかり確認する

3~4日前

台風の大きさや雨量などの情報を確認し、避難先(親族や友人、介護事業所等)と連絡を取り合い避難用品の準備、食料以外にも持病の薬などを忘れずに用意する

2日前

市の防災無線などの情報も参考にして、区で以前から相談して決めていた、家族や親戚、介護施設へ台風が来る前に避難する
迷う時は、近所や区長と相談して決めるのも大切

当日

避難所や、近くの友人宅などへ避難する場合は、明るいうちに避難、自宅の2階へ避難する場合は、山側の部屋を避けて、安全な場所で過ごす

床瀬・中村・下村・銅山・小城・二連原の避難対応、あなたならどう考え行動しますか？

このような人は、こうして対応

1人暮らしの人

- 床瀬の人は、支援者が防災情報を伝える
- 小城と銅山の人は、早めに山と反対側の2階の部屋に避難、早めに家族と連絡を取り合う
- 二連原の人は、区長が安否確認を行い避難を促す

子どものいる世帯

保護者が、早めに判断し避難行動を起こす

高齢の人は

- 下村の人は、75歳以上の人に支援者を区内で決めて支援する(3人態勢)
- 中村の人は、近隣の人が早めに避難の声掛けをする
- 小城の人は、元気な人は自宅の、山と反対側の2階の部屋に避難

外国の人は

区内に社長がいるので連絡は行くが、片言の日本語しかできない(別の知らせる方法検討)



【非常持ち出し用品】

- ・食料品
パックご飯、缶詰、インスタントラーメン、缶パン、ビスケット、赤ちゃんのいる家庭は粉ミルク、水
- ・衣類
肌着、靴下、毛布、レインコート、タオルなど
- ・救急用品
絆創膏、消毒薬、シップ、高齢者や持病のある人は薬

- ・道具類
懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、ガムテープ、携帯電話充電器など



このような場合は、こうして対応

災害が起きそうになったらまず

防災無線が一番の情報なので、情報を意識する

浸水被害



下村の人は、道が浸かる前に、生きがいセンターへ避難するが、遅れた場合は、ハザードマップから外れた安全な家に行く

二連原の人は、早めに近所同士で声掛けし避難確認する

土砂災害



床瀬の人は、自宅の2階の山と反対側の部屋へ避難する(今後自主防を作り対応予定)

二連原の人は会館裏山が、崩れる危険があるので、コミュニティセンターへ避難する

段の人は、道が崩れる前に、親戚の所へ行く

中村の人は、区内に危険箇所があるので、早めに避難をする

【避難所(コミュニティセンター、クリーンパーク)について】

・台風接近時は、大雨が降り始める前に南地区コミュニティセンター、クリーンパーク北但(坊岡)に避難所が開設されます。

川の水位が上昇し、道路に水が溢れている状態や夜暗くなってからの避難は、大変危険です。

豪雨や長雨が続き、木が流れたり土臭い臭いがする、斜面から何かが落ちてくるなど、いつもと違うときは、早めに避難しましょう。

不安を感じたときが避難をするタイミングです。

***避難所には緊急の非常食と水が用意されていますが、アレルギーや体質、病気に**対応していないので、各自で必要な食料など用意して下さい。